



校長室だより 2

黒部市立荻生小学校
文責：校長 寺島紀子
令和5年12月8日
5年度第25号

7日は二十四節気の「大雪」。本格的な寒さがやってくる時季ということです。校門前のサクラもカツラも、もうすっかり葉が落ちてしまいました。ただ、天気の良い日にグラウンドに出てみると、プールそばでは今年も十月桜の花がきれいに咲いています。初冬の寒さを経て、ますますきれいに咲いているようです。寒さが時折一段落し不意に訪れてくる日中の暖かさを、大切に楽しみたいものです。

6日(水)の6限に、3年生から一足早いクリスマス・パーティーへのお誘いがあり、会場の体育館をのぞいてみました。BGMや衣装等でクリスマス気分を高めながら、身体を動かして遊ぶ大好きなゲームやプレゼント・タイムで思い切り楽しんでいました。「お楽しみ係」の子供たちのアイディアと行動力！そしてそれを受けてみんなで盛り上がるチームワーク！素敵でした。

途中、子供たちから「校長先生、今の気持ちを短歌にしてください」と突然の振りがありました。それでは…、パーティーに誘ってくれてありがとう みんなニコニコすてきなサンタ周りの人をお互いに笑顔にできる3年生は、一人一人が素敵なサンタクロースのようでしたよ。楽しい時間をありがとう！



12/5(水)勉強になった避難訓練

すでにHPでもお知らせしましたが、今回の避難訓練はランチルームからの出火を想定して計画し、実際の訓練の様子を黒部消防署の方に見ていただきました。

実は、当日になって職員室のスタッフが予定よりも少ない事態となり、現場での初期消火や校内への放送、消防署への通報等をギリギリの人数で回しながらの訓練となりました。しかし、消防署の方からは「今日のように当日急に役割分担が変わる訓練も、とてもよかったですね」と、おほめの言葉をいただきました。きっと、ポイントを押さえ直し、緊張感をもってそれぞれの対応に当たり、行動できたからかと思えます。もちろん、放送を聞いて各教室から避難する子供たちと担任の動きも真剣でよかったとのこと。よかったです。

グラウンドに避難した後は、消防署の方に教わりながら消火器の使い方の実習をしました。使い方の手順は3段階のみ(①黄色いピンを抜く ②ホースを手取る ③レバーを握り、ホースを火に向けるように近づく)でしたが、低学年の子にとっては5kgほどもある消火器本体を運ぶのがそもそも一苦労だったようです。そういう場合は、消火器を片手で持ち上げてレバーを握るのではなく、本体を床においてレバーの上から体重をかけるようにして押す、というのでもよいそうです。実演して見せていただき「なるほど！」と思いました。

これからはストーブやヒーター等、家庭での火事のリスクも高まる季節です。できれば一家に一台消火器を準備し、いざというときのための備えを家族ぐるみでしておきたいものですね。子供たちの意識も高まっています。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

11月の短歌「朝」を全校から募集しました。入賞作を紹介します！

- ああ苦手早起きするのはぼく苦手 ふとんのままで登校したい (4年Rさん)
- 試合の日二時起きつらいまだねむい ねむいし寒いが試合の準備 (4年Hさん)
- 手を上げておうだんほどわたる時手がつめたいな あす手ぶくろだ (2年Fさん)
- ねぼうしたままて今日は土よう日だ しあわせの時間もうひとねむり (2年Rさん)
- あさおきてねぐせぼさぼさたいへんだスプレーしゅっしゅっよしなおったぞ (1年Aさん)
- 朝おきて晴れ雨くもりどれだろう カッパをきるか？カッパをきないか？ (2年Kさん)

今回は84首も集まりました。「朝」というテーマは歌にしたいことがすぐ思いつく反面、「ねぼうした」「寒い」(この季節は特にそうですね)など、似たような歌になりがちなようです。ほかとはひと味違った場面の選び方、言葉の選び方の工夫があると「才能アリ！」のより面白い短歌に近づきますね。

12月は自由参加の「今月の短歌」はお休みですが、冬休み明けまで「第2回校長杯短歌大会」の作品を全校児童から募集します。テーマは自由。一人1首のみの応募です。親子で楽しく取り組まれてもいいですよ。用紙は後日配ります。1月11日(木)朝に出そろうた歌を皆で読み合い、投票し合う予定です。

シリーズ「教室におじゃまします」12/6(水)6年外国語科の巻

中学年の外国語活動とは違い、高学年の外国語科では英語で書く学習があります。苦手意識の出やすいところですが、なるべく楽しく取り組めたらと思います。

この日は「6年間の思い出について書いてみよう」の学習でした。ザンダー先生と平野先生が“sports day” “the concert” “school camp” “the field trip” や、“fun” “nice” “exciting” といった単語をカードで確認できるようにし、山田先生が基本の英文の型を黒板に書きました。子供たちは英語で繰り返し発音して練習したり、ワークシートを見て英作文のイメージを高めたりして、一人一人の書く活動に移っていきました。教科書に書いてあるほかの単語も調べたり先生に質問したりして取り組んでいる子がほとんどでした。英単語や英文を書くのは難しい部分もありますが、自分の思いにあったものに仕上げたいという思いが「学習を楽しむ」姿勢につながっているようでした。分からない子の相談に乗ってアドバイスする子たちもちらほらいました。

残り10分となりました。目標の「4文以上」をクリアし、先生に合格のハンコを押してもらった子からスピーチの練習です。できるだけ暗記して話せるといいですね。



おまけの<ひとこと> 避難訓練でよかった点としては、①火災報知器のベルが鳴り現場に駆けつけた職員が、消火器と拡声器を持参していたこと(→初期消火をできる限り試みることができた。また「火事だ」と大きな声で校内に知らせることができた)、②初期消火を断念して避難するときにランチルームの戸を閉めて外に出た(→類焼・延焼を防ぐことにつながる)、③各階の検索(トイレなどの残留児童がいないかの確認)をしっかりと行った、等がありました。反面、グラウンドに全校が避難したことがはっきりした時点で、そのことを校舎内で検索している職員に向かって拡声器等で知らせる方がいいとのこと。確かにそうですね。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。